

## 予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：畜産業費 目：畜産振興費

## 事業名 強い畜産構造改革支援事業費補助金(物価高騰分)

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 畜産振興課 畜産基盤係 電話番号：058-272-1111(内4141)

E-mail：c11437@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 93,000 千円 (前年度予算額： 0 千円)

## &lt;財源内訳&gt;

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	93,000	0	0	0	0	0	0	0	93,000
決定額									

## 2 要求内容

## (1) 要求の趣旨(現状と課題)

農業生産に欠かせない化学肥料は、その主原料であるリンやカリウム等の多くを海外からの輸入に頼っている。そのため、近年の緊迫する国際情勢や産出国の輸出規制といった外部要因によって、価格の高騰や供給不足を招きやすいという、供給面での脆弱な構造を抱えている。こうしたリスクを克服し、生産現場へ安定的に肥料を届けるためには、外部環境の変化に左右されない強靭な供給体制の構築が急務となっている。

一方、昨今の物価高騰や飼料価格の上昇により、畜産農家等の経営環境は極めて厳しい状況にあることから、畜産農家等による堆肥の生産に必要な施設等の整備や機械の導入支援を通じ、これまでの輸入原料に依存した生産体系から、地域にある堆肥を有効活用した国内資源由来肥料への転換を図る必要がある。

## (2) 事業内容

国内資源由来肥料への転換を加速させるべく、畜産農家等による堆肥の高品質化やペレット化等に必要な施設等の整備や機械の導入に要する経費の一部を支援する。

## (3) 県負担・補助率の考え方

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の活用により県負担無し。

補助率：1/2以内とする。

## (4) 類似事業の有無

無し。

### 3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	93,000	堆肥等の製造に係る施設整備や機械導入に要する経費の支援
合計	93,000	

### 決定額の考え方

### 4 参考事項

#### (1) 各種計画での位置づけ

無し。

#### (2) 後年度の財政負担

緊急対策のため単年度での実施とし、後年度の財政負担は無し。

#### (3) 事業主体及びその妥当性

農業協同組合連合会、農業協同組合、公社、農業者が組織する団体等とする。

## 県単独補助金事業評価調書

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

### (事業内容)

補助事業名	強い畜産構造改革支援事業費補助金(物価高騰分)
補助事業者（団体）	農業協同組合連合会、(一社)岐阜県農畜産公社、農業協同組合、農事組合法人、農業者等の組織する団体 等  (理由) 事業対象を小規模畜産農家とするため。
補助事業の概要	(目的) 施設整備等による畜産農家の初期負担を軽減し、国内資源由来肥料である堆肥の良質化や利用拡大等を促進する。  (内容) 堆肥の製造に係る施設整備や機械導入に要する経費の一部を支援する。
補助率・補助単価等	定率 (内容) 1/2以内  (理由) 化学肥料原料の輸入通関価格は令和3年以降、上昇傾向となり、令和5年1月以降、下落に転じたが、今もなお高値で推移している状況にある。そこで高い補助率によるテコ入れを断行し、早期の対策を展開する。
補助効果	堆肥の良質化や利用拡大等を促進することで、化学肥料価格高騰による生産現場への影響を緩和することが出来る。
終期の設定	終期 令和8年度  (理由) 緊急対策のため、単年度での実施とする。

### (事業目標)

#### ・終期までに何をどのような状態にしたいのか

新規就農希望者等の経営開始を支援し、新たな担い手を創出するとともに、既存の畜産農家の規模拡大、作業の効率化を図ることにより県内畜産生産基盤の維持・強化を図る。また、規模拡大等における経営リスクを軽減することにより、経営の早期安定化と健全な経営体の育成を図り、多くの担い手を確保、育成する。

### (目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R )	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R )	達成率
①						
②						

補助金交付 実績(千円)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度

### (これまでの取組内容と成果)

令和4年度	指標 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和5年度	指標 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和6年度	指標 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %

### (事業の評価)

- ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)  
3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 3	化学肥料価格が高騰している中、国内資源由来肥料への転換を進めるため、畜産農家等における堆肥の高品質化等を促進させることを目的とする本事業の必要性は高い。	
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり（単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり） 2：期待どおりの成果あり（単年度目標100%達成） 1：期待どおりの成果が得られていない（単年度目標50～100%） 0：ほとんど成果が得られていない（単年度目標50%未満）		
(評価)	・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	

### (今後の課題)

- ・事業が直面する課題や改善が必要な事項  
緊急対策であることから、迅速かつ適切な事業の遂行が求められる。

### (次年度の方向性)

- ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか  
緊急対策であることから、継続しない。